



発行所 東京都豊島区北大塚3-30-10 全管連会館 03(598)18957 全国管工事業協同組合連合会 毎月1回(5月)発行(第3号) 毎号34頁(5頁) 年間購読料:2,500円 (消費税・送料込) (但し会費は購読料に含まれる) URL: http://www.zenkansen.or.jp/

本号の主な内容 日本水道協会令和4年度全国会議を開催 3面 第54回管工機材・設備総合展が開催 3面 給水装置工事主任技術者試験解答速報 5面 第60回技能五輪全国大会・出場者が決定 5面

今後の主要(関連)行事予定 11月2日(水) 全道大会(札幌市) 11月7日(月) 広報委員会(東京・WEB併用) 11月10日(木) 中部ブロック会議(三重) 11月18日(金) 近畿ブロック会議(兵庫) 11月21日(月) 事業委員会(東京・WEB併用)

第351回理事会 全管連組織等の見直し

令和5年7月からの新体制開始までのスケジュール等を確認 講演会 「最近の水道行政について」 (厚生労働省)



本会の第三百五十一回理事会は、十月十八日午後一時三十分から、東京都港区の品川プリンスホテル及びWEB併用にて開催された。当日は、全国から理事九十二名(うち本人(会場六十五名、WEB二十七名)、書面議決提出者十五名)が出席した。理事会は、藤川会長の挨拶に続き、司会者より

本理事会が定足数を満たし適法に成立する旨の報告のち、藤川会長が議長に就任し議事に入った。第一号議案 支部長及び常設委員会委員の補充選任に関する件 本件について、岩野総務部長より、第六十二回通常総会(七月四日開催)における役員補充選任

に件う支部長及び常設委員会委員の補充選任の説明が行われ、審議の結果、原案通り議決された。(1)支部長 各ブロックより推薦のあった三名、宮城県支部長・井上 環氏、高知県支部長・岡崎恒之氏、宮崎県支部長・前田昭彦氏。(2)常設委員会委員 委員候補者五名(六面に説明が行われた。九月下旬に行つた令和四年度下期の組合員数等に関する調査に基づく会員数(十月一日付)を基準として、令和五年一月に開催する第三百五十二回理事会において新役員

の割当数を決定する。また、建設キャリアアップシステムを活用した週休二日工事の達成状況の確認等、現場管理機能の面においてもより強化を図る必要がある。一人親方が安心して働ける環境整備のために、適切な契約形態かどうかを判断する働き方自己診断チェックリストの活用を促進し、適切でない一人親方の目安についてより精緻な基準を設ける必要がある。建設共制度について、掛金納付の状況が透明化され事務作業の負担を軽減できる電子申請方式及

また、建設キャリアアップシステムを活用した週休二日工事の達成状況の確認等、現場管理機能の面においてもより強化を図る必要がある。一人親方が安心して働ける環境整備のために、適切な契約形態かどうかを判断する働き方自己診断チェックリストの活用を促進し、適切でない一人親方の目安についてより精緻な基準を設ける必要がある。建設共制度について、掛金納付の状況が透明化され事務作業の負担を軽減できる電子申請方式及

また、建設キャリアアップシステムを活用した週休二日工事の達成状況の確認等、現場管理機能の面においてもより強化を図る必要がある。一人親方が安心して働ける環境整備のために、適切な契約形態かどうかを判断する働き方自己診断チェックリストの活用を促進し、適切でない一人親方の目安についてより精緻な基準を設ける必要がある。建設共制度について、掛金納付の状況が透明化され事務作業の負担を軽減できる電子申請方式及

水牌

また新体制において、コンパクトな組織で風通し良く、活発な議論を行うため、理事を対象としたアンケート調査を行い、より適材適所での配置での積極的な事業運営を目指すこととしているとした。

また新体制において、コンパクトな組織で風通し良く、活発な議論を行うため、理事を対象としたアンケート調査を行い、より適材適所での配置での積極的な事業運営を目指すこととしているとした。理事会終了後は、厚生労働省医業・生活衛生局水道課の名倉良雄課長による講演「最近の水道行政について」が行われた。とりわけ水道整備・管

労働省医業・生活衛生局水道課の名倉良雄課長による講演「最近の水道行政について」が行われた。とりわけ水道整備・管行政の移管について、感染症対応能力強化に向けた厚生労働省の組織見直しにより、水道整備・管理行政を国土交通省が、水質基準の策定を環境省が所管する方向性であり、令和六年四月の移管を目指し、来年一月に召集予定の次期通常国会に関連法案が提出される予定等説明がなされた。

「水」の策定について、実態を踏まえたものにするため、一人親方の実態把握を強化する。そのため、働き方自己診断チェックリストの活用、チェットリストの活用、小あり方等について、下請指導ガイドラインの運用状況等を踏まえつつ更なる検討を行い、令和五年度末を目途に一定の道筋を示す見込み。

建設キャリアアップシステム処遇改善推進協議会

建設キャリアアップシステムの推進 建設業の一人親方対策の推進 建設共・CCUS連携の利用促進 13つの重点課題の推進強化へ

国土交通省は十月六日、建設キャリアアップシステム処遇改善推進協議会(会長・蟹澤宏剛、副会長・芝浦工業大学教授)の第二回会合を都内で開催した。協議の冒頭に挨拶した長橋和久不動産・建設経済局長は、「地域の建設

企業にメリットのある制度だと明確に示す取り組みを強化すると述べた。協議では、令和四年度公共事業労務費調査の実施、建設キャリアアップシステムの推進について、建設共電子申請とCCUS連携、今後の協議会重点課題について協議が行われた。建設業における今後の担い手確保のため、建設キャリアアップシステム

の登録及び活用を推進し、技能者の賃金上昇や退職金制度の適正な運用等を通じて、技能者の処遇改善につながる好循環を継続する必要がある。また、建設キャリアアップシステムを活用した週休二日工事の達成状況の確認等、現場管理機能の面においてもより強化を図る必要がある。一人親方が安心して働ける環境整備のために、適切な契約形態かどうかを判断する働き方自己診断チェックリストの活用を促進し、適切でない一人親方の目安についてより精緻な基準を設ける必要がある。建設共制度について、掛金納付の状況が透明化され事務作業の負担を軽減できる電子申請方式及

また、建設キャリアアップシステムを活用した週休二日工事の達成状況の確認等、現場管理機能の面においてもより強化を図る必要がある。一人親方が安心して働ける環境整備のために、適切な契約形態かどうかを判断する働き方自己診断チェックリストの活用を促進し、適切でない一人親方の目安についてより精緻な基準を設ける必要がある。建設共制度について、掛金納付の状況が透明化され事務作業の負担を軽減できる電子申請方式及

また、建設キャリアアップシステムを活用した週休二日工事の達成状況の確認等、現場管理機能の面においてもより強化を図る必要がある。一人親方が安心して働ける環境整備のために、適切な契約形態かどうかを判断する働き方自己診断チェックリストの活用を促進し、適切でない一人親方の目安についてより精緻な基準を設ける必要がある。建設共制度について、掛金納付の状況が透明化され事務作業の負担を軽減できる電子申請方式及

INAX 空間を美しく整えるトイレ。パブリック向けクイックタンク式床置便器。露出していた配線もホースも隠してすっきり。コンパクトな奥行675mmでゆったり空間。約20秒の短い洗浄間隔で混雑を緩和。

低層集合住宅用 複式メータボックス 樹脂製 クワトロ-II 施工性向上 狭い所でも配管可能! ソケット不要 省施工 + 耐震化製品 自由に動く 可とう継手! 株式会社 タブチ 0120-481-130 検索機能充実の WEBカタログ はホームページから!













